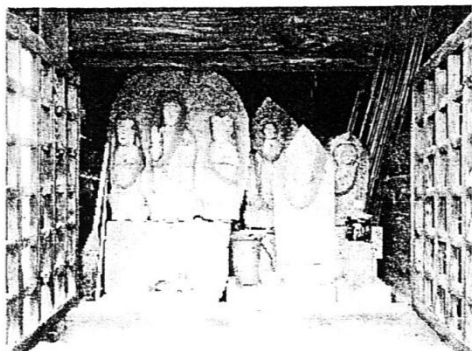


# 北陸石仏の会々報

富山県立山町金剛新の善光寺如来

平井一雄

7月24日立山町の石仏を採訪して、金剛新の渡辺家の屋敷仏と思われ、地蔵堂に善光寺如来石仏を確認した。渡辺家の屋敷の南北に地蔵堂があり、北側の堂内に3体の地藏石仏と同居しておられる。像高は65センチ、横幅56センチ、奥行き25センチの凝灰岩製である。立山町金剛新は古くは下金剛寺新村といった。集落東部に万延元年(1860)渡辺澄水が開いたと伝える曹洞宗桂林寺(旧金剛庵)がある。この渡辺家とつながるのかもしれない。善光寺式阿弥陀三尊とは善光寺の秘仏本尊を模したとされる。特色ある形式の阿弥陀三尊像が日本各地に分布し、彫刻史では善光寺式阿弥陀三尊像と称している。その特色は次のとおりである。両脇侍の観音菩薩・勢至菩薩の3体とも立像である。阿弥陀如来の左手の人差し指と中指を伸ばし、他の指を曲げる。両脇侍は胸前で両手の掌を水平にして重ね、「梵篋印」を結び、独特の宝冠をかぶっている。三尊全体の背後を大きな1枚の舟形光背がおおっている。富山県東部の魚津市天神山に雨宝童子石仏や金毘羅石仏と共に善光寺式阿弥陀三尊石仏を確認している。今回も善光寺三尊仏の研究者でもある北村会長に滝本さんを通じて報告した。



2010. 7. 14 立山町金剛新 平井一雄撮影

第37号

平成22年9月15日発行

編集と発行

北陸石仏の会  
(日本石仏協会北陸支部)  
代表 北村市朗

〒939-1315  
富山県砺波市太田1770  
尾田武雄 方

電話 0763-32-2772  
振替 00740-2-11974

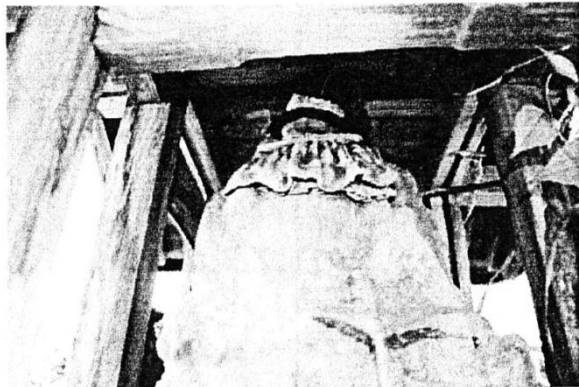
(年会費 3,000円)

会員報告
------

## 中能登町鳥屋の地蔵半跏像（中世石仏）

尾田武雄

8月29日、中能登町の「第6回石動山で先人の心を語る」に出席するために、前日の28日妻と鳥屋町の石仏の調査をした。幸い、「とりやの地蔵めぐり」（平成4年鳥屋町教育委員会）があり、それを参考に駆け足で行った。青面金剛や地蔵と共に、中世の如来系石仏や中世の地蔵半跏像が3体あり、その報告をしておきたい。



① 良川沖

- ① 鳥屋町良川沖・丹後池西側  
高さ48cm・幅34cm・奥行き28cm  
頭部、宝珠・錫杖が欠落している  
石材は氷見市藪田石である。堂々として  
光背は円光背であろう。造立は南北朝期



- ② 鳥屋町羽板手間神社前  
高さ77cm・幅60cm・奥行き38cm  
頭部・宝珠・錫杖が欠落しており、後ほど補修されている  
石材は氷見市藪田石である。堂々として円光背であろう。造立は南北朝期

② 羽板手間神社前



- ③ 鳥屋町春木天神社鳥居前  
高さ62cm・幅20cm・奥行き20cm  
宝珠が欠落している。顔面も削られている。  
石材は氷見市藪田石。舟形光背である。造立は室町時代

③ 春木天神社前

## 会員報告

### 洲巻の庚申信仰

池田 紀子

洲巻は珠洲市と輪島市との境界線に接する奥能登修験道の霊峰宝立山につながる山奥の集落です。

そこには『珠洲市史』にも記載されている庚申塔がありました。

今年の2月下旬に訪ねた時は予想以上の積雪で、また集落の人達にそんな「石」は見ることがないとも言われ、そのまま帰りました。

6月上旬、再び訪ねた時は、2月に話をしてくれた下衾（シモネ）さんと偶然に会うことができ、今度はいろいろ歩いて、ようやく高野家の裏山で手厚く祀られている庚申塔を発見しました。

高さ約70cm（市史では120cmと記載）、幅約46cmの自然石に「庚申之塚」と陰刻されています。建立年月は不明です。

この辺は、現在でも雨量が少なく、また雨水を必要とする生活が続いています。昭和の初め、雨乞いのため洲巻の住人2人が信州戸隠山の水種をもらうために往復しました。その際、その水を地面につけてはならないということで、両人は不眠不休で運び、5日目に慈雨に恵まれたといわれています。

また、下衾さんも先祖代々の掛軸があると言われ拝見したのは、きれいな青面金剛の掛軸でした。滝本さんに写真を見てもらったところ、持ち物、形式などからみて、明治時代に入ってからのものではないかという返事でした。

庚申塔と青面金剛の掛軸だけ庚申信仰を確定するのは急ぎすぎかもしれませんが、この洲巻という地域、自然環境が古くから人々に何らかの信仰心を持たせたのではないかと思います。

『珠洲市史』参考



珠洲市洲巻 下衾家の庚申掛軸



珠洲市洲巻 庚申之塚

## 北陸石仏の会 第41回例会案内

## 加越国境の石仏めぐり

平成22年10月24日(日)

案内	滝本やすし(金沢市)		
参加費	5000円 (バス・資料代)		
申込方法	次の事項を記入の上ハガキでご連絡ください。 住所・氏名・電話番号(携帯)・集合場所		
申込先	939-1315	富山県砺波市太田1770	北陸石仏の会事務局 尾田武雄方
締め切り	平成22年10月18日		
集合場所	大沢野文化会館	午前6時50分	(平井一雄乗車)
	JR砺波駅南口	午前7時40分	(尾田武雄乗車)
	JR金沢駅改札口	午前8時30分	(滝本やすし乗車)
	JR加賀温泉駅	午前9時20分	
	[注意]加賀温泉駅に集合された方は丸岡駅解散となります。		



①美地乃神



②愛の神(双体神像)



③西国三十三所観音石龕

今回の例会は加賀市から旧丸岡町にかけての北国街道ぞいの石仏を中心に見学します。街道ぞいには道中安全を祈願する石仏や多くの供養塔が建てられています。諸事情により見学地を変更する場合があります。

## 見学箇所(予定)

- ◎加賀市八日市町 路傍/都もどり地蔵(僧形像)  
…西行と西住とが別れたこの地に建てられている石仏…
- ◎加賀市大聖寺永町 路傍/「美地乃神」 写真①  
…美地乃神とは道の神なのか…
- ◎加賀市大聖寺地方町 路傍/日蓮題目塔、地蔵  
…日蓮書の題目が刻まれた石塔が路傍に…
- ◎あわら市吉崎 岩崎観音/阿弥陀、観音、勢至、普賢  
…蓮如の里・吉崎御坊の麓に建てられた石仏群…
- ◎あわら市細呂木 旧北国街道路傍/加越国境地蔵、よしさきみち道標  
…旧北国街道ののこぎり坂、加越国境に建てられた名号塔…
- ◎あわら市吉崎 旧吉崎道路路傍/一字一石墳、聖徳太子(十六歳像)  
…蓮如が切り開いた吉崎道、その路傍に建てられた石仏たち…
- ◎あわら市北潟東字寺崎 路傍/愛の神(双体神像) 写真②  
…このあたりにいくつかみられる双体神像、道祖神なのだろうか…
- ◎あわら市宮前 御前神社/西国三十三所観音石龕、石祠 写真③  
…元禄年間に建てられた、三十三所観音が彫られた石龕…
- ◎あわら市花の杜5丁目 千束一里塚/弥勒、地蔵  
…旧街道ぞいに今も残る一里塚に建てられている石仏たち…
- ◎あわら市花の杜2丁目 坂ノ下観音堂/名号塔、日行題目塔他  
…金津宿・蓮如ゆかりの観音堂、名号塔と題目塔とがいっしょに…
- ◎坂井市丸岡町長畑 路傍/おはや・良作地蔵、光導名号塔  
…武士と町娘との悲しい恋の結末、供養のために建てられた石仏…

## 事務局あとかぎ

今回は、会員報告を主に編集しました。

『北陸石仏の会研究紀要』も準備したいと思います。  
身近にある石仏の話題を投稿してください。

KH記